



# しよりじしま町



オリーブ百年祭記念植樹 (オリーブ公園・平成20年4月1日)

# 議会だより

# 5

2008年 No.8  
平成20年5月1日発行

- 審議議案  
平成20年度当初予算など ..... P2~3
- 一般質問  
12名の議員が質問 ..... P4~8
- 委員会活動報告 ..... P9



■発行／小豆島町議会 ■編集／小豆島町議会広報編集委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

# オリーブ植栽100周年オリーブ課新設

## 審議した主な議案

### 平成20年度予算・意見をつけて可決

3月定例会を3月4日から3月21日までの18日間の会期で開き、第1日目は坂下町長から、平成20年度の施政方針をはじめ、各会計予算や新規条例、条例改正など23議案、議員発議による条例改正1件が提案されました。第2日目は、条例改正など一部を可決し、各関係予算、新規条例などはそれぞれ常任委員会に付託しました。

第3日目および第4日目は、一般質問を行いました。さらに、第5日目（最終日）には、付託議案の採択や、追加議案として、教育委員会委員の推薦、平成19年度各会計補正予算など8件、議員発議による意見書1件、特別委員会の設置2件が提案され、意見書は否決されましたが、その他の議案はすべて原案どおり可決しました。

新年度の予算12件は、総務、教育民生、建設経済の各常任委員会に付託して、延べ5日間にわたって審議しました。その結果、次のような意見をつけ、賛成多数で原案どおり可決しました。

#### 〔一般会計〕

〔税務課〕  
軽自動車税の滞納繰越分が前年度と比較して増加している。車検時は納税証明

書が必要であるが、内容を精査し、減少に努められたい。

#### 〔環境衛生課〕

野犬対策については、これまで再三指摘してきたが一向に効果が見られない。捕獲方法などに問題があるのならば、町民に対し広報活動を行い、自治会に呼びかけるなど官と民が一体となって取り組まれたい。

ごみの問題については、町は積極的に広報活動を行われない。

#### 〔商工観光課・オリーブ室〕

オリーブ振興については、苗木の助成配布や遊休荒廃農地の再整備事業など、栽培促進に向けた取り組みは評価できる。オリーブ課が新設されるため、さらなるオリーブの生産・販売の支援に取り組まれたい。

〔農林水産課〕  
食糧自給率を高めたり、地産地消からも農業経営が継続できるように、町の支援策が必要である。

#### 〔建設課〕

内海地区は花の町づくり協会、池田地区は花とふれあいの会が、それぞれの地区において、環境美化活動に取り組んでいる。活動や運営方法など相違点はあるが、早期に一体化をめざされたい。

香川県においては、現在、非常に厳しい財政状況下ではあるが、条件事業については、早期着工に向けて要望されたい。

#### 〔人権対策課〕

同和対策事業については、生活環境等ハード事業はほぼ整備されたが、ソフト面の対策が重要である。従来からの施策では限界にきていると思われるので、一般施策に向けた団体のあり方、啓発など差別をなくすため全力を挙げて再考されたい。

#### 〔社会教育課〕

社会教育施設は、建設後かなりの年数が経過し修繕

も行われないうまま老朽化している状況である。計画的に検討されたい。

#### 〔後期高齢者医療事業特別会計〕

新制度である後期高齢者医療制度については、制度内容、運営が住民に理解されたいので、説明会の開催や広報活動及び相談窓口の設置など積極的に実施し、制度開始後混乱が生じないよう対処願いたい。

#### 〔病院事業会計〕

全国的に自治体病院の経営が悪化している状況の中、内海病院においても同様に厳しい経営状況になっている。度重なる診療報酬の改正、患者数の減などが考えられるが、小豆島の中心病院として、また、救急医療や高度医療化に対応するため、医師・看護師の確保、高額医療機器の更新、建物の改修など、今後、問題が山積している。島の病院のあり方を土庄中央病院との合併も視野に入れ、早期に検討されたい。

現在の教育委員会委員長谷元秀史さん（安田）の任期が5月11日をもって任期満了となりますので、後任に



横手 繁氏

教育委員会委員に横手繁氏を任命

横手繁氏（神懸通）を任命することに同意しました。教育委員会の委員は、次の方々です。

- 黒木治夫氏（馬木）〔教育委員長〕
- 明田隆雄氏（池田）〔教育長〕
- 熊坂泰忠氏（福田）
- 岡田恕枝氏（池田）

平成20年度一般会計・特別会計・企業会計予算

（単位：千円）

区分	会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減額
一般	一般会計	7,755,000	7,885,000	△ 130,000
特別会計	国民健康保険会計	1,935,028	2,181,441	△ 246,413
	国保診療所会計	40,746	43,169	△ 2,423
	老人保健会計	290,778	2,631,399	△ 2,340,621
	後期高齢者医療会計	314,998	0	314,998
	介護保険会計	1,321,518	1,256,833	64,685
	介護サービス会計	78,175	74,480	3,695
	介護予防支援会計	9,286	12,232	△ 2,946
	簡易水道会計	60,046	46,703	13,343
	計	4,050,575	6,246,257	△ 2,195,682
	企業会計	水道事業会計	438,258	447,213
病院事業会計		3,108,479	3,208,745	△ 100,266
介護老人保健施設事業会計		307,714	313,854	△ 6,140
計		3,854,451	3,969,812	△ 115,361
合計		15,660,026	18,101,069	△ 2,441,043

条例制定

◎小豆島町後期高齢者医療費に関する条例

平成20年4月から75歳以上の後期高齢者を被保険者とした後期高齢者医療制度のスタートに伴い、本町が行う事務、納期等について定めるものです。

条例の一部改正

◎小豆島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

◎小豆島町特別会計条例

◎小豆島町国民健康保険条例

◎小豆島町中小企業融資条例

◎小豆島町乳幼児医療費助成に関する条例

◎小豆島町母子家庭等医療費支給に関する条例

◎小豆島町重度心身障害者等医療費に関する条例

◎小豆島町介護保険条例

条例廃止

◎小豆島町心身障害者小規模通所作業所条例を廃止する条例

障害者自立支援法の施行に伴い、小規模通所作業所

議員発議

「あすなるの家」は、平成20年4月から法人化し、就労継続支援事業B型に移行するためです。

◎小豆島町議会委員会条例の一部改正

小豆島町行政組織条例の一部改正に伴い、委員会条例第2条第2号中「健康増進課」を「保険事業課、介護事業課」に改め同条第3号中「商工観光課」の次に「オーブ課」を加えるものです。

◎庁舎問題特別委員会の設置

庁舎の老朽化に伴い耐震性に欠けるとともに、防災拠点として十分な機能を果たすことが困難である。

また、住民の利便性や効率的な事務運営に支障等さまざまな問題の解決を図るため、庁舎問題について調査、検討するものです。

- 委員長 秋長 正幸
- 副委員長 藤本 傳夫
- 委員 森 崇
- “ 安井 信之

◎議員定数特別委員会の設置

町財政が逼迫する中で、小豆島町議会としても積極的な経費削減に取り組み、より一層住民の声にこたえていくことを目的とし、議員定数はいかにあるべきか調査、検討するものです。

- 委員長 井上喜代文
- 副委員長 新名 教男
- 委員 森口 久士
- “ 谷 清
- “ 植松勝太郎
- “ 新茶 善昭
- “ 鍋谷真由美
- “ 中江 正

◎後期高齢者医療制度をはじめ、高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書

提出者鍋谷真由美議員、賛成者森崇議員の両名から意見書が提出され、採決の結果、否決されました。

- 渡辺 慧
- 藤井 源詞
- 村上 久美
- 濱口 勇

# 一般質問

【傍聴者9名】

- |          |          |
|----------|----------|
| 谷 清 議員   | 安井 信之 議員 |
| 鍋谷真由美 議員 | 森口 久士 議員 |
| 村上 久美 議員 | 藤本 傳夫 議員 |
| 植松勝太郎 議員 | 森 崇 議員   |
| 浜口 勇 議員  | 中江 正 議員  |
| 渡辺 慧 議員  | 秋長 正幸 議員 |

## 防火用水槽の新設と

### 自治消防団のあり方は



谷 清 議員

体育館建設後、隣接地に設置を計画しています。

自治消防団は、あくまでも自主防災組織であり、初期消火や現場での水利への誘導などが役目です。

谷議員 昨年末片城地区で民家が全焼したが幸い風もなく類焼はまぬがれた。

現場には常備消防がいち早く到着したが水圧が少なく、消火に手間取ったといわれ、自治消防も何の役にもたたなかったといわれている。この機会に消火栓、耐震の防火用水槽の新設を検討すべきではないか。

答弁 現在消火栓、防火水槽の充足率は60%程度です。

直近の計画として、内中

## 農道整備の

### 目的は何か

谷議員 2月27日農水省

東北農政局が、米の作りすぎは資源の無駄遣いでもつたいない、とのポスターを作成し配布して米作農家の総スカンを喰ったとの報道があった。本町でも農道が作られているが、何も作らずに荒れている田も目につくが目的は何か。

答弁 小豆島高校西側か

ら別当川にかけての水田地域内で農道整備を実施しています。

搬入など生産活動の条件整備により、作業の効率化や管理能力の軽減化を図り、耕作放棄農地の発生防止を目的に整備するものです。



拡幅された立恵東2号農道

## 後期高齢者医療制度の中止を

鍋谷議員 75歳以上の人を「後期高齢者」と呼び、

他の世代から切り離して際限のない負担増と差別医療を押し付ける大改悪である。国に対し、4月実施の中止撤回を求めていくべき。



鍋谷真由美 議員

また、保険料を滞納したら保険証を取り上げられ、資格証明書を発行するよう定められているが、命にかかわる無慈悲な保険証取り上げはしないようにすべきだ。

答弁 中止・撤回を求めることは考えていません。

資格者証の発行は、保険料未納対策として有効で、必要と考えます。交付対象者をできる限り減らす努力をし、慎重に対応します。

## 内海病院に リハビリ専門医を

鍋谷議員 内海病院に対する町民の要望・不満の声にこたえて充実・改善を。またリハビリ科に専門の医師を置くことを求める。

答弁 医師、看護職の確保に努め、研修会参加を促し患者や家族への対応に問題があった職員にはそのつど注意し、苦情のないよう指導します。専門リハビリ医の配置は考えていません。

## 内海地域に 学童保育設置を

鍋谷議員 働く保護者から強い要望のある学童保育の内海地区での実施を求める。

答弁 「県放課後子どもプラン推進事業」や他市町の動向、児童の状況などを調査研究し、関係者と議論、協議を重ね、10月末までに検討します。



宿題したり遊んだり楽しい学童保育（池田）



内海ダム付替道路



村上久美 議員

### 財政危機を招く 内海ダム再開発の即刻中止を

答弁 地元から、圧迫感の軽減や景観保持、地域活性化につながる有効利用の要望があり、多目的広場的な基本計画を行っていません。内海ダム再開発は利水治水両面から重要な事業です。

### 不正な 同和行政終結を

村上議員 香川県包括外部監査は人権同和関連施策の再検討が必要と指摘。特定団体の補助金の大幅減額、隣保館の運営事業のあり方の見直し、オープン化個人給付の一般対策への見直しなどを求める。

答弁 補助金は、活動内容を精査し、適正に対応していきます。隣保館設置運営要綱の目的に基づき、各種事業を総合的に実施、就学就労につながる事業は継続します。

### 臨時職員の 賃上げを

村上議員 雇用期間について、60歳までを65歳に延長する考えはあるのか。臨時職員は給料が安くボーナスも少なく生活が不安定。賃金を引き上げ、正規職員との格差是正を求める。

### 循環型社会Ⅱ商工業の振興Ⅱ バイオマスタウン構想の実現へ



植松勝太郎 議員

植松議員 オリーブ振興特区に始まり、クラスター事業へそしてバイオマスへ。

廃棄物を有価物に変えるバイオマスタウン構想を、食品産業界だけでなく、町も国の機関と一緒に一刻も早く実現できるように取り組んで。このことが税収基盤の強化、雇用の増大、人口の減少に歯止めが

答弁 国の動向を注視し、定年延長が施行されれば反映させていきます。臨時事務員の賃金は島内一般的事業所と比べて特に低いことはないと考えていますが、4月から職員給料の改定などを勘案し、改定します。

かかるものと思われるが。

答弁 食品業界から発生する廃棄物系バイオマスの利活用に加え、自然や農業に親しむ生活、環境にやさしい平和な暮らしなど「オリーブライフのまちづくり」をめざします。関係機関との連携を密にし、役場内でも協議・検討を進め、策定に向けて取り組みます。

### 「出会いの輪創出 事業」について

植松議員 以前にも質問したが、多くの男女が未婚

でいる。経済活動の低下や少子化問題の根源である。この事業今後どう取り組み成果を挙げる予定なのか。

答弁 対象となる独身男女で組織を作り、計画実行を自ら手がけていくものです。

一般企業や商工会青年部、青年団、サークル、町職員などから10名程度を人選し、活動の核(スイートボム)を数グループ程度作

### 大合併の感想と島の今後は



浜口 勇 議員

浜口議員 平成の大合併が一段落した感想は。また、土庄町との合併は当面はないのか。

答弁 地方交付税の削減により、自治体財政は大きな負担となっており、地域間格差が広がっています。今は、町の行財政基盤を



り、語り合い、別のグループにも声をかけ、次第にグループを大きくし、カップルの誕生をめざします。

強固なものにすることが一番重要なことと考えています。

### 小豆島観光協会 の今後は

浜口議員 (社)小豆島観光協会会長に就任する町長の協会運営の考え方を問う。

答弁 よりよい組織、体制をめざしたい。また、今後も地域資源を生かし、活性化に取り組んでまいります。

### 橘トンネルの 早期完成に向けて

浜口議員 来年4月から  
福田地区児童の通学路にな  
る国道436号橘トンネルと前  
後道路の早期完成に努力す  
べきではないか。

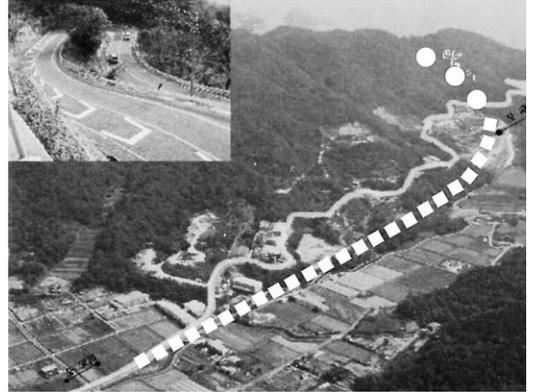
答弁 平成24年度末まで  
に、全線完成に向けて、県  
と連携をとりながら、さら  
に努力をします。

### 人口減少対策として 独自の解決策は

浜口議員 島外の若者に  
も移住したくなる魅力あふ  
れる町づくりが人口減少対  
策になるのではないか。

答弁 独自の政策として、  
特定不妊治療助成の「こう  
のとりプラン」、子ども連  
れの親が自由に過ごせる場  
の「ベビーサロン事業」、  
出合いの場創出事業の「ス  
イートハート事業」の実施  
を予定しています。

### 5歳児健診を実施しては



橘トンネル道路改築事業



渡辺 慧 議員

渡辺議員 3歳児健診が  
終わると、就学前まで健診  
がなく、その間に発達障害  
などの異常が生じても家庭  
では気づかない場合があ  
る。このようなことは早期  
発見することが重要であ  
り、そのため5歳児健診が  
大事だ。早期実現に向けて  
取り組んで。

答弁 正しい生活習慣や  
歯科保健、発達障害児の早  
期発見のためアンケート調  
査、子どもの発達相談、健



3歳児健診風景 (イマージュセンター)

### 特別支援教育支援員 の取り組みは

診内容、実施方法など住民  
福祉課、学校教育課、保育  
所、幼稚園、保健師が連携  
を密にして、支援について  
検討したいと考えていま  
す。

渡辺議員 平成19年4月  
より障害のある幼児・児  
童・生徒に対応するため  
「特別支援教育」を行うこ  
とが決まった。  
本年度より障害に応じた

適切な教育を実施するうえ  
で支援員が配置されるが、  
サポートの内容や現状はど  
うか。

答弁 平成20年度より支  
援員を小学校3校、中学校  
1校、幼稚園1園に配置を  
します。  
日常生活上の介助、学習  
支援、活動や移動などの介  
助、児童生徒の障害理解促  
進などの役割を担い一人ひ  
とりの力を高め、生活や学  
習上の困難を改善、克服す  
るため、教員とともに適切  
な指導や支援をします。

### 内海地区の小学校統合に 向けてのプロセスは



安井 信之 議員

安井議員 内海地区の学  
校統合は、本庁舎方式へ  
の転換と同じく喫緊の重  
要課題であると考えて。  
昨年12月に「町学校再編  
整備検討委員会」の設置が

されたが、意気込みが見え  
てこない。  
地震などにおいての子供  
たちの安全、及び少子化・  
財政問題を考えると早い段  
階での対策が必要であると  
考える。

これからの検討委員会の  
プロセスは。

答弁 委員会では統合を  
含めて耐震や老朽化への対  
応など、施設の計画整備の

検討や、児童の立場に立つ  
た建設的な検討など、本町  
の将来を担う子供たちにと  
つて、よりよい教育環境を  
確保することが最優先され  
るべきと考えています。  
この委員会は、町立学校  
などの将来構想及び施設整  
備を計画することを目的  
に、24名の方に検討委員を  
お願いし、幼稚園、小学校、  
中学校の統廃合も含めて、  
検討します。

池田小学校は耐震診断の  
結果、平成21年度に補強工  
事実施の方向で協議してい  
ます。委員会第1回は4月  
早々に行い、具体的な検討、  
協議を行い、全体としての  
答申を平成20年度末までに  
まとめたいただきたいと考  
えています。



平成21年4月統合予定の福田小学校

### 交通安全対策の自転車に 対する取り組みは



森口久士 議員

森口議員 道路交通法の自転車についての改正規定「自転車安全利用五則」が施行される。どのような啓

**自転車安全利用五則**

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外  
 (罰則) 3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金または2万円以下の罰金または料料
2. 車道は左側を通行  
 (罰則) 3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行  
 (罰則) 2万円以下の罰金または料料
4. 安全ルールを守る  
 ・酒気帯び (罰則) 3年以下の懲役または50万円以下の罰金  
 ・運転  
 ・2人乗り (罰則) 5万円以下の罰金または2万円以下の罰金または料料  
 ・並進 (罰則) 2万円以下の罰金または料料  
 ・夜間はライトを点灯 (罰則) 5万円以下の罰金  
 ・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認 (罰則) 3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金
5. 子どもはヘルメットを着用

発活動を考えているか。

答弁 地域の交通事情の下で、警察機関・学校関係者とも協議し、現状に合わせた啓発が必要と考えています。交通安全全般の啓発の中で、安全な自転車利用も含め住民の交通安全意識の高揚を図ります。

### 「出会いの輪創出 事業」とは

森口議員 社会福祉協議会と連携してというが、どのような計画か。オリーブ百年祭で島外の人も募集す

る出会いや交流の場づくりを計画しては。

答弁 バスツアーは継続実施予定で、独身男女の継続的な交流を行いカップル誕生へ取り組みます。積極的に各種イベントに参加、自主的な交流を図ります。

### 観光客に対する 接客態度は

森口議員 一年間様々なイベントが開催される。小豆島町観光協議会を中心に、接客態度の研修をして対応すべきでは。

答弁 「もてなしの心」による接客と、オリーブの基礎知識を得ることを目的に、「観光マナー&オリーブ講座」を3月19日開催します。研修会が、一度にとどまらず、今後も取り組みが行われるよう、町も協力します。

### ダム・砂防ダム・ため池などの 有効利用を



藤本 傳夫 議員

水利組合や関係団体のご意見を参考に県などの関係機関と連携し、砂防ダムなど既存の貯水可能な施設の有効活用も視野に入れ、渇水時にも農業用水の確保対策に努めます。

藤本議員 土地改良事業を行う違った水系の池も、水をためることができると防ダムも同じバイブラインでつなぎ有効に利用することができないか。

答弁 町内6箇所の砂防ダムに県と協議のうえ貯水をしており、その一部を農業用水として活用しています。

### オリーブ振興 について

藤本議員 今、植えられた木が成木になった時の収穫時の対応、塩蔵処理時の排液処理指導、搾油能力はどのくらいあるか。以前のオリーブ公園での施設計画のその後は。

答弁 将来、収穫が増加した場合「ちぎりこさん」グループや収穫応援隊の組織化を積極的に取り組みます。また、低樹高栽培の推

奨で面積拡大を図ります。現在、島の業者は水質汚濁防止法の基準には適用されないが、2社が排水処理施設整備を検討しています。

搾油機械は5社が所有し日量26トンであり稼働60日として150トンが可能です。今後、加工施設の必要性は十分認識しており、確実な収穫量把握のため、アンケート調査を行ってまいります。各企業の対応やオリーブ振興施設、観光施設の両面から、よりよい施設の建設に向けて検討します。

### 阪神航路問題に一言もふれない 施政方針は問題だ



森 崇 議員

触れられてないのは問題だ。追加方針を求める。

阪神航路廃止は、今回で4回目だ。陸の道をつないでいる海の道にこそ道路財源を使うべき時であり、島国を代表して国に求める運動の先頭に立つてほしい。

8年前のジェットラインの署名2万人の声を今こそ生かすべきだ。

森議員 阪神航路高速船が運休し、ついに廃止となったが、この問題に対し町長の「施政方針」に一言も



赤柴砂防ダム (貯水量21,500 t)

答弁 阪神航路の廃止発表は残念な結果であり、重要性は認識してはいますが「民間が業として」運営しており、利用者があってこそ存続できるものです。燃料の高騰などで全国各地で路線バスや、航路の廃止が相次いでいます。議会とともに出来る限りの支援と研究をしていきます。施政方針には大変難しいので言及を避けたことをご理解いただきたい。



阪神航路の再就航を求める集会（坂手）

### 防火水槽の実態と計画は

森議員 安全・安心の町づくりには防火水槽は欠かせない。計画的に設置すべきだ。

また、山火事防止に農道やブルーライン道路の必要箇所には防火用タンクを設置してはどうか。

答弁 防火水槽は池田に多く57基設置され、内海は

### 蒲生漁港の消波対策の計画は



中江 正 議員

中江議員 2年前の私達の調査では、全ての漁港で海砂が高く積み上がっており、排水口の機能が失われていた。

施政方針での蒲生漁港の消波捨石をはじめ、4漁港で施設改良工事の実施計画を詳しく知りたい。旧池田町が平成13年12月に19箇所の港湾や漁港などの海岸排水口状況調査を行っているのか。

28基ですが消火栓は内海が多くなっています。山林火災はタンク車などで対応しています。現状は建物火災の防止に努める方針です。

答弁 蒲生漁港内で計画している消波捨石設置事業は地元自治会の強い要望を受け単独県費補助、漁港事業（補助率50%）で新規に事業化するものです。

東蒲生地区約300mの護岸前面の海砂が減って基礎部が露出していることから花崗岩を投入するものです。



整備が急がれる蒲生漁港

計画としては5箇年で完成する目標です。また、池田地区内の海岸部の排出口の閉塞ですが、昨年も中江議員へ答弁しましたが約50

### 島内にイノシシが出た 抜本的な有害鳥獣の対策を



秋長 正 幸 議員

秋長議員 昨年12月に「鳥獣被害特措法」が成立し、権限委譲されている。計画立案が急務と考えるがいかがか。

また、シカの食用利用を取り組まれてはどうか。

答弁 イノシシは、繁殖力が旺盛であり、早めの駆除が必要と考えています。郡の対策協議会を中心に計画を立案します。

シカは、毎年200頭、銃で駆除し、肉の一部は、猟友会会員が食用などにしていきますが、大部分埋設です。今後調査研究します。

箇所では排出不良が見られませんでした。県及び町で導流堤を築造し対応しています。



車に衝突したイノシシ（平成20年2月）

### 内海病院、ドクターの資質問題

秋長議員 総合的な地域医療、中核施設として最先端の技術を提供すべきだが、一部の科では、対応できなく、他の医療施設へ行き日帰り手術を受けている。近代的な設備と技術を提供できるよう改良すべき

だ。なぜできないのか。答弁 全国的に医師不足で、確保が大きな課題です。関係大学との関係を緊密にし、粘り強く努めます。苦情対応は、その都度院長などから指導を徹底します。町民との信頼が基本であり、技術・知識の向上へ努力します。

3月定例会で小豆島町議会で緊急質問（帯状疱疹について）が出されました。

# 委員会活動報告

(議会の閉会中に、主要な案件などを調査・審議したものです)

## 常任委員会

### 総務

平成20年1月17日委員会を開催し、意見を求めました。

#### ◎議員定数について

担当課より、県下の状況の説明を願い、出席委員、傍聴議員の現在の考え方を聞き、今後どのように進めるか協議した。次回の委員会開催までに各地域・団体での意見を集約し、再度協議することにした。また議員全員での協議が必要であるとの意見も出た。

#### ◎庁舎問題について

担当課より、保健福祉部門機構改革に伴う執務場所の説明を願い、執行部案を了承した。南館N.T.Tの建物については、庁舎問題の方向が定まるまで、借りておくべきとの意見が多かった。

本庁舎位置についても、出席委員、傍聴議員の意見を聞き、今後どのように進

めるか、特別委員会の設置も含め、引き続き検討することになった。

### 教育民生

平成20年2月12日委員会を開催し、次の意見を出しました。

#### ◎国民健康保険税税率の改正について

主な意見  
① 制度改正により負担が増えているが、元気な老人が増えるよう住民の意識改革・施策に努められたい。  
② 広域的な後期高齢者医療制度が施行されようとする中、医療費と国民健康保険税(料)の関係で、わが町と県内他市町との間でずれが生じている。県下の国民健康保険税(料)の調査研究を行ってほしい。

## 特別委員会

### 交通問題

平成20年2月7日委員会を開催し、次の意見を出しました。

#### ◎「航路を道路として認定し、道路特定財源を適用する意見書」について

「すべての航路を道路として認定し、道路特定財源の有効活用で、航路を確保し、瀬戸内海全島の生活・経済の発展を求める意見書」について、担当課より離島航路の現状について説明を願い、意見書提出につき協議を行った。

香川県議会で意見書提出の動きもあり、効果を大きくするには県下他町への広がりが必要であることから、県議会の動向を見て意見書提出の検討をする結論に至ったことを報告します。

### 内海ダム

内海ダム再開発事業は付替え道路工事が本格化していることから、内海ダム特別委員会を平成20年1月28日に開催し、内海ダム再開発工事現場の視察を行いました。工事中の騒音対策や付替え県道の景観対策について、香川県及び小豆島町の説明を受けました。

騒音、振動については各地点で調査を行い、規制法の特定作業等の基準値内であったとの報告を受け、県道法面の景観対策については、コンクリート面が目立

たないコンクリート法柱に代えて、連続繊維補強土工法を採用し、法面全面の緑化をして環境に配慮している説明を受けました。  
また、ダムの概要、ダム下の修景盛り土、付替え町道、かんかけ配水地の移転などについても説明を受け、着々と本体着工に向け鋭意事業が進捗している状況を視察しました。  
内海ダム特別委員会は、香川県に対し内海ダム再開発事業の早期完成と、工事中の地元対策及び景観対策について、引き続き配慮をお願いしました。



内海ダム再開発工事現場視察

# 議 会 日 誌

## 2 月

- 7 道路特定財源の暫定税率廃止に反対する香川県緊急大会 〔高松市〕
- 交通問題特別委員会  
（「航路を道路と認定し、道路特定財源を適用する意見書」について）
- 12 教育民生常任委員会（国民健康保険税税率の改正について）
- 19 小豆郡町議会議長会
- 23~24 第16回小豆島オリーブ杯ゲートボール全国大会
- 25 議会運営委員会（第1回定例会の運営について）
- 26 香川県町村議会議長会総会（定例会） 〔高松市〕

## 3 月

- 4 第1回定例会（第1日目）
- 議会広報編集委員会（議会だより第8号の編集）
- 5 第1回定例会（第2日目）
- 6 教育民生常任委員会（付託議案審査）
- 7 小豆地区広域行政事務組合定例会 〔土庄町〕
- 土庄町小豆島町環境衛生組合事務組合定例会 〔土庄町〕
- 伝法川防災溜池事業組合定例会 〔土庄町〕
- 10 総務常任委員会（付託議案審査）
- 11 建設経済常任委員会（付託議案審査）
- 12 教育民生常任委員会（付託議案審査）
- 13 総務常任委員会（付託議案審査）
- 17 議会運営委員会（第1回定例会の運営について）
- 18 第1回定例会（第3日目）
- 19 第1回定例会（第4日目）
- 議会広報編集委員会（議会だより第8号の編集）
- 全員協議会（带状疱疹について）
- 21 第1回定例会（第5日目）
- 議員懇談会（オリーブ百年祭・オリーブマラソンについて）
- 24 岬の分教場保存会評議員会
- 25 ふるさと村公社評議員会
- 26 小豆島町担い手育成支援協議会幹事会
- 27 小豆島町土地開発公社理事会
- 28 オリーブ公園評議員会

## 4 月

- 4 議会広報編集委員会（議会だより第8号の編集）
- 10 小豆島町自治連絡協議会
- 14 議会広報編集委員会（議会だより第8号の編集）
- 20 オリーブ植栽100周年記念式典・記念講演
- 28 小豆島町自治連絡協議会

## 住 民 の 声



### 『一体感と公平感』

小豆島町自治連合会 藤本 忠成（中蒲生地区総代）

平成大合併のひとつとして合併した我が町は、合併して3年目に入りました。行政におかれては、町長を中心に旧町間の一体感の醸成をも視点に諸計画、諸プランを策定され

積極的に展開し、推進されていきます。自治会活動では、町自治連合会（33地区）が結成され、各単位自治会の活動を軸に他地区のことも参考にしながら、それぞれの地域の伝統や特性を活かしながら活動を続けております。

旧町間の一体感とは、町民相互の和であり、町民各位が日々の生活の中で、豊かさと公平性が確保され「合併してよかつた」との意識が深まっていくことが肝要と思われ

ます。そのためには、行政の不断の努力と町民の協働が大切です。私達自治会の世話役は、行政に協力することはもちろんのこと、町の目指す方向に呼応して自治会会員の一体感、公平感の醸成にも微力ながら努めていかねばと思っております。

### 編集後記

オリーブが植栽されて百年になり、県・町共に「オリーブ百年祭」のさまざまなイベントが開催されます。島のシンボルとして、全国へイメージアップが図られることを願いつつ、島民あげて「おもてなしの心」で対応したいものです。この事業が、一過性で終ることなく、新たなスタートの年として将来の飛躍を期待します。

「食」の安全の事件が、各地で出ていますが、島のオリーブは「安全」「安心」でごまかしのない商品でなければなりません。観光と共に、島の農業が復興し、足腰の強い「オリーブ産業」になることを夢見る一人です。

このたびの3月定例議会において、新たに「庁舎問題特別委員会」及び「議員定数特別委員会」を設置し、合併前からの懸案事項である庁舎のあり方、次回町議会議員選挙（平成22年4月）における議員定数について、議会として検討します。町民の皆様のご意思を伺いますので、よろしくお願い申し上げます。

秋長正幸 記